

加川 広重

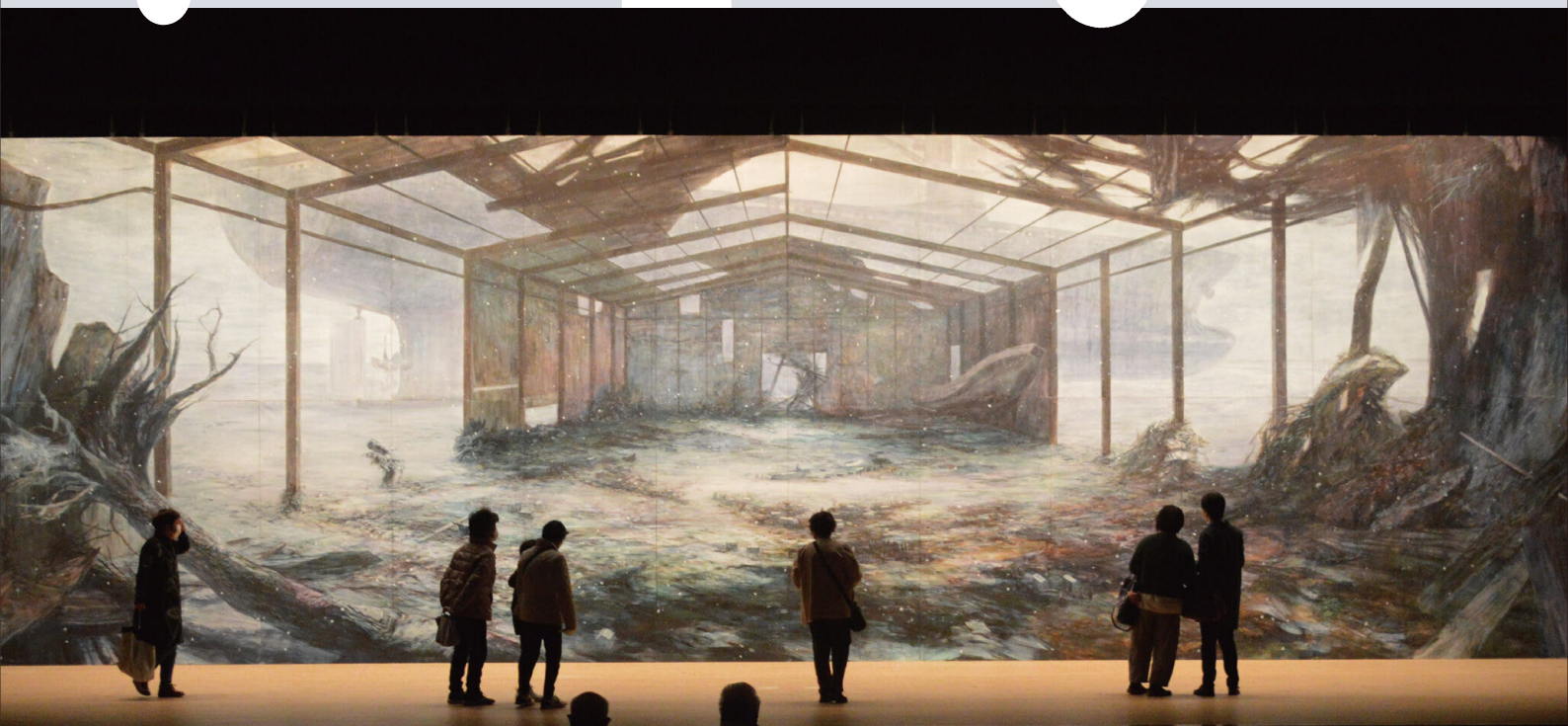
巨大絵画展

雪

に

包まれる

被災地



2026.9.21 (月・祝) — 9.27 (日)

11:00 — 17:00 *最終日は15:00まで 入場無料

蔵王町ふるさと文化会館 [ございんホール]

主催：蔵王町教育委員会

絵画の向こうに、
あの日 広がる



雪に包まれる被災地 2011年 5.4×16.4m 紙に水彩
船が陸に乗り上げ、建物が流され、家屋に流木が流れ込み、壊れた天井からは雪が降り積もる。そんな状況を目の当たりにした時の精神的喪失感を、あの日の雪景色の中に表現した作品。中心の建物は石巻沿岸部の工場、背景に浮かび上がるタンカーは岩手県釜石の港に乗り上げたものを参考に制作している。



01



02



03



04

01 巨大絵画
（雪に包まれる被災地）制作風景
02 巨大絵画
（雪に包まれる被災地）部分
03 小作品（光を征く船）
2025年 24×50cm 紙に水彩
04 小作品（リクガメと世界）
2024年 30×40cm 紙に水彩

震災を描いた巨大絵画、 蔵王町で10年ぶりに公開

蔵王町在住の画家加川広重氏は2011年の東日本大震災後すぐに各地を巡り取材をし、1年を待たずにその情景を描いた巨大水彩画「雪に包まれる被災地」を発表しました。「震災後の喧騒の中でただ夢中に描き切った、自分の力を優に越えている奇跡的な作品」と加川氏。縦5.4メートル、幅16.4メートルの大画面には、あの日の様々な記憶が細部まで描き込まれています。

この町では10年前に一度公開されて以来、展示される機会がなかった本作品が、多目的ホールで再び特別公開されます。飾らない空間の中で、ただ静かに作品と向き合い、あの震災に想いを馳せる。作品を前に、震災の記憶を子ども達に伝える。そんな貴重なひとときをお過ごしください。

加川 広重 | かがわ ひろしげ

画家。1976年宮城県蔵王町生まれ。2001年武蔵野美術大学油絵科卒業。2003年より「巨大水彩展」を計28回開催。主な作品発表に「加川広重巨大絵画が繋ぐ東北と神戸」（2013/2014/2015 KIITO 神戸市）など。日本文教出版令和7年度版教科書「中学美術2・3下」に「雪に包まれる被災地」が掲載される。平成24年度宮城県芸術選奨新人賞。蔵王町観光大使。



幹 miki

シンガーソングライター。宮城県蔵王町在住。雄大な自然に囲まれた環境で暮らしながら、日々音楽の創作活動中。専門学校時代に音楽プロデューサー須藤晃氏にその才能を認められ同氏プロデュースによる村下孝蔵トリビュートアルバム「絵日記と紙芝居」に唯一アマチュアで参加。蔵王町観光大使。



〔展示とEvent〕

加川広重 巨大絵画展 雪に包まれる被災地

日時 | 2026年 9月21日(月・祝)～27日(日)
11:00～17:00 *最終日は15:00まで

加川広重 小作品展

日時 | 2026年 9月21日(月・祝)～27日(日)
11:00～17:00 *最終日は15:00まで

風景や生き物など、様々なイメージを色とりどりに描いた小作品、約15点を展示します。

巨大絵画+幹miki コラボレーションコンサート

日時 | 2026年 9月26日(土)
14:00～14:45

加川広重氏と共に蔵王町観光大使を務めるシンガーソングライターの幹mikiによる、巨大絵画を背景にした感動的なコンサートです。

絵画と共にクラシック鑑賞

日時 | 2026年 9月22日(火・祝)、23日(水・祝)
14:00～15:00 *生演奏ではございません。

巨大画と共に聴いてほしい音楽を作者の加川広重氏が厳選。多目的ホールにて作品と共に鑑賞します。

作者による作品解説

日時 | 2026年 9月22日(火・祝)、23日(水・祝)、26日(土)
13:00～13:30

作品が生まれた過程や描かれた内容の解説、巨大画はどのようにして制作されるのかなど、詳しく解説します。

蔵王町ふるさと文化会館〔ございんホール〕

〒989-0821 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦5番地
tel 0224-33-2018

お車をご利用の場合

東北自動車道 ——— 村田I.Cより約15分
白石I.Cより約15分

バスをご利用の場合

JR白石駅より ——— ミヤコーバス バスで約25分
JR大河原駅より ——— ミヤコーバス バスで約30分
JR仙台駅より ——— ミヤコーバス 高速バスで約50分

